

各 位

奈良県ラグビーフットボール協会
普及育成委員会ミニ部門

第41回奈良県ミニラグビーカーニバルの 重点レフリング項目について

第41回奈良県ミニラグビーカーニバルの高学年(小学5年生・6年生)において、以下項目を重点として置いて、レフリングする予定です。各チームにおいては、この項目も含めて、選手に周知いただき、当日の円滑なゲーム進行にご協力をお願いいたします。

なお、中学年については、ルールが若干違うため全て同様とはいきませんが、この項目に準じた対応を行います。低学年・女子タグについては、開催要項に記載の通りです。

1. 危険なプレーについて

- いかなる時も頭を下げるプレーは、反則です。(オフェンス側・ディフェンス側も対象です。)
 - 特に、タックル時、ラックのオーバー時(シーリングの反則)に注意してください。
- ハイタックル・逆ヘッドタックルは禁止。
 - タックル時も含めて、レフリーは危険なプレーの発生を予見した場合は、笛を吹きプレーを止める場合があります。

2. 試合再開について

- キックオフ(得点後も含む)
 - 双方の準備完了を確認してから行う。(速攻の禁止)→罰;やり直し。
- スクラム
 - レフリーのコール(「クラウチ・タッチ・ポーズ・エンゲージ」)の4段階に則り、組み合う。
 - スクラム中は、双方、正しいバインドをして組み合っておく。
 - 正しいボール投入。
 - BKは、スクラムの最後尾から3m下がる。
- ラインアウト
 - 正しい位置にいる。(双方)
 - L/O参加者は、相手と「明確に1mのスペース」を開ける。
 - DF側のスロワーはTLと3mラインの間に位置する。
 - 双方のハーフバックは、L/Oの列の後方に位置する。
 - 双方のBKは、マークオブタッチより5m後ろに位置する。”
 - マークオブタッチに沿って、ボールを投入する。→罰;ノットストレートの反則
 - ノット3mに注意しながら、ボールコンテストを行う。
 - ラインアウトの解消要件により、オフサイド解消。
- ペナルティーキック
 - 正しいタップキックで、試合を再開する。(AT側)
 - ①正しい位置で、②地面に置いて、③マークからキックでボールを動かす。
 - 罰;やり直し。繰り返す場合は、相手ボールスクラム対応。
 - 速やかに5mバックを行う。(DF側)
 - 再開後も後退を続ける。→罰;5mバックできておらず、プレーに参加した場合は、ノット5mの反則。

4. オフサイドラインについて

- ブレイクダウン(ラック・モール)のオフサイドラインは、そのブレイクダウンに参加しているプレイヤーの最後尾です。
- サイドアタック時等は、オフサイドラインを意識して、体の一部分でもオフサイドラインを超えないようにしてください。

その他、不明な点がありましたら、各スクールの普及育成委員を通じて、お問い合わせをお願いします。
安全で、スムーズな試合進行のため、皆様のご協力をお願いいたします。

以 上